

地域包括ケア推進会議における主な議論 (地域での対応方針・市レベルの課題)

平成29年度 第1回 松戸市地域ケア会議
平成29年7月11日

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理①

- 平成29年1月～5月の間、地域包括ケア推進会議は合計17回開催され、医療・介護・福祉・地域関係者等のほか、テーマに応じて、ボランティア・権利擁護機関・子ども担当部署等が参加して、地域課題の解決に向けて議論が行われた。
- 推進会議では、課題解決に向けて、地域での対応方針を決定する。地域で解決できない課題がある場合には、そうした課題を抽出した上で、市レベルの課題につなげる。

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
1. 認知症の 理解促進	<ul style="list-style-type: none"> ○地域住民が、認知症についての知識がなく、どう接してよいか分からない。世代を超えた認知症に対する普及啓発が必要。 ○認知症と思われる方に気づいても、相談窓口がわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○日に数回、買い物をしたり、同じ品物を購入する高齢者を見かけた。顔はわかるが、名前まではわからない。商店は心配しているが対応方法がわからない。 ○日中独居の認知症高齢者が、近隣に「他人が来ている」と助けを求める。近隣住民は手助けしたいと思っはいるが、どう対応してよいか困っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症について理解を深めるための講座などを幅広い年齢層に行っていく。老い、介護について学びあう機会を地域で持つようにする 【本庁】 ○地域住民に認知症の説明をしていくと共に、地域で認知症サポーター養成講座を開催できるよう地域包括支援センターが関係者に働きかけていく。 【東部】 	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学生への認知症等の普及啓発を図るなど、多様な世代への認知症の普及啓発を図る。 	明1 本庁 東部
2. 住民による認知症の見守り	<ul style="list-style-type: none"> ○オレンジ協力員の活動の充実が必要。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ○オレンジ協力員のスキルアップを図る。【新松戸】 	<ul style="list-style-type: none"> ○オレンジ協力員のスキルアップや活動の場の充実が必要。 	新松戸

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理②

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
3. 認知症の 地域支援	○認知症の家族を支える地域資源が必要	○認知症の妻を支える夫がストレスを抱えている	○認知症家族の会を夫に提案 ○オレンジ協力員を活用 ○認知症カフェ紹介、夫婦が互いに離れた時間を設ける。 ○登録相談員さんが訪問。 ○相談者間で良い関係が構築できれば、地域との交流の一步につながる。【常盤平】	○認知症の人と家族を支える地域資源の充実が必要。	常盤平
4. 認知症高齢者等の 意思決定 支援	○意思決定困難な人にかかわる支援者の責任が重い	○家族が亡くなりキーパーソン不在になったゴミ屋敷のサービス拒否の高齢者 ○進行性難病。入院や施設入所が予想されるが、精神的に不安定で入院したら、眠らせてほしい。命を絶ちたいなどの発言がある	○本人の意思を確認し、記録に残し、関係者記録の整備・周知徹底。【常盤平】 ○本人の意思が明確でない高齢者に関して介護と入所施設や病院と連携が必要【常盤平】	○意思決定支援を行う仕組みの充実が必要。	常盤平
5. 困難事例 における 医療対応 の推進	○精神疾患・アルコール・栄養状態不良などで、支援を必要とするにもかかわらず、必要なサービスにつながっていない高齢者への支援が必要。 ○本人の拒否により必要な医療や介護に繋がらない。	○精神疾患の高齢者による迷惑行為や脅迫的な言動で近隣住民が関わり方に戸惑いを感じている。 ○不衛生な環境で生活しているなど、支援が必要だが拒否が強い。	○認知症だけではなく、精神疾患患者に対する理解や見守りの促進【明2西】 ○地域ケア会議を活用し、顔の見える関係、連携の強化を図る。【矢切】 ○地域サポート医のアウトリーチを検討。【矢切】	○地域サポート医の積極的な活用を推進。 ○アウトリーチの必要性判断や事前の情報分析機能の充実、幅広い相談対応の受け止めが重要。	明2西 矢切 新松戸

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理③

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
6. 社会資源の把握・開発	<ul style="list-style-type: none"> ○歩いて行ける範囲内で気軽に参加できる体操教室が不足している。 ○高齢者が集うサロン等の場所が足りない。 ○ボランティア活動の指導者がいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○閉じこもりがちで社会交流の少ない高齢者世帯。 	<ul style="list-style-type: none"> ○住民主体の体操教室をつくる【明2西】 ○地区内のサロン等の社会資源をまとめ冊子にする。【五香松飛台】 ○空き家の活用で、地域住民でカフェや集いの場を開設。【六実六高台】 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターにおける社会資源の把握・開発を推進する。 ○地域包括支援センターが運営する体操教室の好事例の共有を通じて、サロン等の自主運営を推進する。 	明2西 五香松 飛台 六実六 高台 馬橋
7. 外出支援	<ul style="list-style-type: none"> ○地域により高齢者が歩行していける距離に医療機関やスーパー等がなく困っている。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ○A病院の巡回バスの本数を増やし新たな停留所を個別ケア会議で検討。B病院の無料巡回バスの周知を行う。【五香松飛台】 ○近隣住民の助け合い(買い物支援)【六実六高台】 ○地域のスーパー等による定期移動販売【六実六高台】 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の社会参加を推進するため移動困難な高齢者の外出支援の環境を整備が必要。 	明2東 五香松 飛台 六実六 高台 新松戸
8. ゴミ問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○解決が困難なゴミ屋敷が存在する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○莫大な量のごみ屋敷に住む独居MCI高齢者。敷地外までゴミがあふれ出し近隣トラブルが発生した。近隣・病院・地域包括支援センターが協力して、とりあえず敷地外のごみは撤去した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の見守り力を向上させて、プチ・ゴミ屋敷になる前に発見・通報・介入の努力をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゴミ出し支援のニーズの把握と必要な方策の検討。 ○支援を求める力の欠如した高齢者への地域サポート医の活用を推進。 	明第2 東 新松戸

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理④

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
<p>9. 見守りネットワークの構築の推進</p>	<p>○地域で近隣の異変に早期に気づき、対応するためにどのようなシステムがよいか。 ○商店と連携した高齢者の見守りが重要。</p>	<p>○独居、2日間弁当が玄関先におきっぱなしになっていることに宅配事業者が気づき、救急要請につながった。【小金原】 ○独居、新聞が溜まっていることから隣人が異変に気づき救急要請につながった。【小金原】 ○日に数回、買い物をしたり、同じ品物を購入する高齢者を見かけた。顔はわかるが、名前まではわからない。商店は心配しているが対応方法がわからない。【明第1】</p>	<p>○気づいたらどこに連絡するか誰でもわかりやすいフローチャートのようなものを作り、地域で周知する。【小金原】</p>	<p>○重層的な見守りネットワークの構築の推進 ○見守り協定の締結推進と協定締結事業者との連携強化 ○商店会との連携に基づく見守り強化に向けた意見交換の推進。</p>	<p>明第1 矢切 小金原</p>
<p>10. 見守りネットワークの対応力向上と情報共有の推進</p>	<p>○支援を必要とする高齢者や家族を早期発見するための地域の見守り力の向上 ○地域との関わりがない世帯について、実情を把握するのが難しい。 ○マンションのセキュリティが高く見守りが困難、個人情報観点から情報が得られない。</p>	<p>○認知症および精神疾患の独居高齢者。熱中症で救急搬送されたのがきっかけとなり、居室がごみ屋敷になっていることや家賃やライフラインが未払いとなっていることが判明。介護保険や成年後見制度の利用に繋がった。 ○大規模マンション老々介護、高齢者のみ世帯。夫は通所系サービスの利用はあるが妻の拒否が強く緊急時の対応、日常の見守りが困難。</p>	<p>○地域の見守りを担っている様々な人・機関を対象に講演会を実施し、見守りの重要性・見守りのポイントを学習し連携強化の意識共有を行った。【明2東】 ○高齢者支援連絡会の相談員と地域包括支援センターが情報共有し、連携できるよう、具体的な方法を協議する。【東部】 ○地域住民間の関係づくりのためにまずは「挨拶」を交わす。住民間で関心も持つことで異常を早期に発見する。【六実六高台】</p>	<p>○見守りネットワークの対応力向上や情報共有推進に向けた市レベルでの勉強会・研修会等の開催。</p>	<p>明2東 明2西 本庁 東部 六実六 高台</p>

地域包括ケア推進会議における主な議論の整理⑤

テーマ	(1) 課題	(2) 関係する個別事例	(3) 地域での対応方針	(4) 市レベルの課題	(5) 地区
11. 地域共生 (分野横断支援)	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者・障害者がメンバーである世帯への支援ニーズに対応する必要がある。 ○高齢者以外の他分野の関係機関（障がい・子ども）との連携が十分に図れていない。 ○高齢化している地域コミュニティに若い世代の参加が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が障害児の病院や施設への送迎を行っている。 ○近隣の支援を受けながら、本人は特に心配事なく家事も自分で行い生活している93歳の独居高齢者。支援してきた近隣住民も高齢となり、いつまで自分たちだけで支援できるか心配している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者と子どもの交流の場を作る【小金】 ○世代間交流を目的にしたサロン、場所を作る【明2西】 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者以外の他分野の関係機関との連携強化。 ○コミュニティーへの若年世代の参加促進 	明1 明2西 小金

別添

**各地域包括ケア推進会議における
参加者・議題・議論**

1. 明第1地区推進会議（平成29年1月26日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
1月26日 (木) 14:00~ 16:00	町会	1	医師	1	ケアマネ	2	1. 商店と連携して高齢者の見守りが出来ないか 2. 寂しさを埋めるために動物を飼っているが、世話が難しくなった
	地区社協	2	歯科医師		介護事業者		
	市社協	1	薬剤師	1	通所介護	1	
	民生委員	1	看護師	1	認知症デイ	1	
	ボランティア		保健師		小規模多機能	1	
	高支連		医療相談員		地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
			消防				
					合計	18人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	商店と連携して高齢者の見守りが出来ないか	日に数回、買い物をしたり、同じ品物を購入する高齢者を見かけた。 顔はわかるが、名前まではわからない。商店は心配しているが対応方法がわからない。	×		○商店と地域包括支援センターの意見交換等ができる場の提供。又は、その手段を教えてもらいたい。 ○協力店を募ってもらいたい。
イ	寂しさを埋めるために動物を飼っているが、世話が難しくなった	犬の散歩が辛くなってきている。 家の中が獣毛で不潔になっているが自分では掃除が充分にできない。しかし、介護保険サービスでは対応が難しい。	○	地域の動物病院へ地域包括支援センターの啓発を行う	○動物を飼う責任を伝える。 ○パンフレットの作成。

2. 明第1地区推進会議（平成29年5月19日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
5月19日 (金) 14:00~ 15:30	町会	1	医師		ケアマネ	3	1.高齢者世帯（障がい者等を含む）をどのようにも見守っていけばよいか。 ・どのような事例があった（過去にあった）か ・どのような対応方法があるか（出来ることあるか）
	地区社協	1	歯科医師		介護事業者	1	
	市社協		薬剤師	1	通所介護		
	民生委員	2	看護師	2	認知症デイ		
	ボランティア		保健師	1	小規模多機能		
	高支連		医療相談員	3	地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
			消防				
					合計	20人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での解決の 是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	高齢者世帯（障がい者等を含む）をどのように見守っていけばよいか。	高齢者が障がい者の子供を病院や施設に送迎している事例	○	○「防災」というキーワードでつながりを持つことができるのではないかと ○地域ケア会議等でケアマネに町会のことを知ってもらおう。	○福祉に関心を持てるような住民への啓発 ○行政・町会等が持っている情報を関係者で共有できないか。

3. 明第2東地区推進会議（平成29年1月18日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
1月18日 (水) 17:30~ 19:30	町会	7	医師	1	ケアマネ	11	1.地域課題アンケート中間報告（明第2地域包括支援センターより） 2.平成29年度からの明第2東地区地域包括支援センター委託法人変更のお知らせ 新・受託法人（一般社団法人ウェルフェア代表、吉田氏からのあいさつ） 3.講演「高齢者の見守りと支援の大切さ ～整理現場からの警鐘～」
	地区社協	1	歯科医師	1	介護事業者	1	
	市社協	1	薬剤師				
	民生委員	13	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連		医療相談員		地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察		住民	1	
			消防		オレンジ協力員	5	
					合計	48人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	要支援者に対する地域の見守り力の向上	70代の精神疾患・独居の男性。20年来隣家の支援を受けてきたが、ある日、火傷が原因で大けがを負った。隣家一人では適切な処置ができず追い詰められて民生委員から地域包括支援センターに相談があった。	○	○地域の見守りを担っている様々な人・機関を対象に講演会を実施し、見守りの重要性・見守りのポイントを学習し連携強化の意識共有を行った。	○見守りを担っている機関・組織間の連携強化の施策。 (勉強会や交流会等)
イ	地域の個人診療所・クリニックにも地域包括支援センターを知ってもらう。	70代の精神疾患・独居の男性が火傷をして近医（皮膚科）受診したが、自分では自宅で適切な処置を行うことができずに悪化。その結果、指切断となった。医師は地域包括支援センターの事を知らなかった。	○	○地域の個人診療所・クリニックに地域包括支援センターのチラシを配り、業務内容を知ってもらう。	○皮膚科・眼科・耳鼻科などすべての医療機関に対する地域包括支援センターの周知

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	解決・解消が困難なゴミ屋敷問題	莫大な量のごみ屋敷に住む独居MCI高齢者。敷地外までゴミがあふれ出し近隣トラブルが発生した。近隣・病院・地域包括支援センターが協力して、とりあえず敷地外のごみは撤去した。	○	地域の見守り力を向上させて、ブチ・ゴミ屋敷になる前に発見・通報・介入の努力をする。	増加しているゴミ屋敷対策への市全体での取組み（市役所関連部署との共同支援体制作り）
エ	事業対象者・介護軽度者の高齢者への生活支援サービス	移動手段さえあれば、スーパー銭湯で入浴できたり、スーパーで買い物できたり、サロンや体操教室に参加できる高齢者が増えている。	×		<ul style="list-style-type: none"> ○自宅で入浴できない高齢者を支援するサービス（入浴施設までの送迎車、入浴だけのデイサービス、公的な高齢者用入浴施設等）を作って欲しい ○市民センターでのサロンや体操教室への送迎専用車を市で数台確保して貸し出す仕組み作り

4. 明第2西地区推進会議（平成29年1月11日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
1月11日 (水) 18:30~ 20:30	町会		医師	1	ケアマネ	1	1. 個別ケア会議で取り上げた事例報告 2. 第1回地域包括ケア推進会議の報告 3. 講演「高齢者の見守りと支援の大切さ ~整理現場からの警鐘~」
	地区社協		歯科医師		介護事業者	6	
	市社協		薬剤師	2			
	民生委員	14	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	11	医療相談員	1	地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察		オレンジ 協力員	5	
			消防		合計	47人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	歩いて行ける範囲内で気軽に参加できる体操教室が不足している。	少し前まで元気にゴルフやスポーツジム通いをしていたが、突然原因不明の不眠、意欲低下、体調不良となった高齢者。事業対象者となり週2回デイサービス利用している。	○	住民主体の体操教室をつくる	○住民主体の体操教室を運営するためのノウハウ作りを市全体で取り組む。 ○体操教室やサロンへの送迎車を市で数台用意して順番に各地域が借りられるようにしてはどうか。
イ	支援を必要とする高齢者や家族を早期発見するための地域の見守り力の向上	認知症だが病識のない高齢者を長年支援してきた友人が自分自身も体調不良となったが、認知症高齢者が他者の支援を拒否する。	○	地域の見守りを担っている様々な人・機関を対象に講演会を実施し見守りの重要性・見守りのポイントを学習し連携強化の意識共有を行った。	○見守りを担っているさまざまな機関・組織間の連携強化の施策。(勉強会や交流会等)

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	在宅の精神疾患患者と周囲の住民への支援	精神疾患の高齢者による迷惑行為や脅迫的な言動で近隣住民が恐怖を感じている。警察や保健所は強権的な介入ができないケースで住民が困っている。	○	○認知症だけではなく、精神疾患患者に対する理解や見守りの促進	○介入拒否の在宅精神疾患患者を支援する専門チーム（精神科医保健所、精神保健福祉士等）が必要ではないか。
エ	事業対象者・介護軽度者の高齢者への生活支援サービス	○脊柱管狭窄症の悪化でスーパー銭湯や福祉会館に自力で行けなくなりそうな高齢者 ○認知症独居で服薬管理や身の回りのことができなくなった高齢者	○	○近所によるゴミ出しなどのちょっとしたボランティア的なお手伝いを広げることができないか ○高齢者がよく行く商店による声掛けや見守りを協力願えないか	○自宅で入浴できない高齢者を支援するサービス（入浴施設までの送迎車、入浴だけのデイサービス、公的な高齢者用入浴施設等）を作って欲しい
オ	高齢化している地域コミュニティに若い世代の参加が少ない。	近隣の支援を受けながら、本人は特に心配事なく家事も自分で行い生活している93歳の独居高齢者。支援してきた近隣住民も高齢となり、いつまで自分たちだけで支援できるか心配している。	○	○世代間交流を目的にしたサロン場所を作る	○市役所内担当各部署（高齢者、障害者、子育て、地域福祉、街づくり等）共同企画の実施、連携

5. 本庁地区推進会議（平成28年12月7日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者						議題
12月7日 (水) 13:30~ 15:00	町会		医師		ケアマネ	5	1.活動報告 統計資料、相談ケースから見えてくる特性 H2 8/7月松戸市ケア会議に報告した本庁の事例 地域課題、および地域包括の活動計画と報告 2.グループワーク ～本庁地区の地域課題を考える～ 3.その他 関係機関、事業所からの情報提供
	地区社協		歯科医師		介護事業者	2	
	市社協		薬剤師	1			
	民生委員	4	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連		医療相談員	1	地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察		大学教授	1	
			消防		しくなるあ いず	1	
				合計	21人		

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	マンションのセキュリティが高く見守りが困難、個人情報の観点から情報が得られない。	大規模マンション老々介護、高齢者のみ世帯。夫は通所系サービスの利用はあるが妻の拒否が強く緊急時の対応、日常の見守りが困難。	○	マンションへの周知として、管理人に依頼して包括などのチラシを掲示してもらう。	○マンション管理者などへ高齢者の見守り協定、コミュニティづくりなどの働きかけ。 ○企業と自治体との提携。
イ	世代を問わず認知症の理解を得ていく必要がある。	レビー小体型認知症の妻と夫の老々介護、高齢者夫婦のみ世帯。レビー小体型認知症の妻が退院するにあたり、夫も結核で退院したばかりで介護力が心配であるが、家族の理解、かかわりが薄い。	○	認知症について理解を深めるための講座などを幅広い年齢層に行っていく。老い、介護について学ぶ機会を地域で持つようにする。	○教育委員会と開催方法について検討していただきたい。

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	地域との関係が希薄な高齢者のみ世帯をどのように見守っていくか。	高齢者夫婦のみ世帯。マンションの工事を機に相談が入った。自宅はものにあふれており、過去にボヤ騒ぎもあったが、夫婦ともに自立しており支援は望んでいない。これまではマンション住民は生活の実態がわからなかったが、今後の夫婦の生活に不安を感じている。	○	出入り自由なコミュニティカフェ等ができないか検討していく。	○75歳もしくは80歳以上の高齢者のみ世帯の見守り体制の制度強化。

6. 矢切地区推進会議（平成29年1月27日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
1月27日 (金) 19:30~ 20:30	町会	1	医師	2	ケアマネ	1	1.平成28年度 活動報告 統計資料、相談ケースから見えてくる特徴について 2.地域内交流の紹介 特別養護老人ホームなでしこ「特別養護老人ホーム 入居者と特別支援学校生徒との交流会報告」 3.平成28年度の3事例を通しての意見交換 (グループワーク) 4.その他 関係機関や事業所からのご案内等
	地区社協	1	歯科医師		介護事業者	12	
	市社協		薬剤師	1			
	民生委員	1	看護師				
	ボランティア		保健師				
	高支連		医療相談員		地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察		大学教授	1	
		消防					
				合計	25人		

(2) 議論のまとめ

①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
介護保険制度について適切な周知が図れておらず、制度利用についての抵抗が残っている。	認知症があり親戚や民生委員、町会に見守られ生活してきたが、心身状況も低下がみられ始める。介護保険サービスの導入を検討しているが、子が親を見るのが当たり前という考え方が根強くあり、本人がサービス利用の必要性を感じていない。小規模多機能居宅介護の特性を活かし、馴染みの関係を構築しながらサービス導入につながった。	○	○特養や小規模多機能施設が場所を提供し、周知活動。 ○認知症カフェや体操教室等、地域の人が集まれる場所の提供。 ○オレンジ協力員の周知。 ○町会や民生委員など地域と専門職の関係づくり。	

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
イ	医療と介護の連携の強化。	生活保護受給者の独居。過敏性腸症候群、神経性因性膀胱により失禁を繰り返しているが、サービス利用だけでは保清等が不十分であり、不衛生な環境で生活。本人の身体状況からも適切な住環境での生活のため転居も試みたが、本人の強い拒否により中止となっている。	○	○地域ケア会議を活用し、顔の見える関係、連携の強化を図る。 ○アウトリーチの検討。	医療情報（主治医意見書等）の共有化。
ウ	フォーマルとインフォーマルな組織間の連携の強化と役割分担の明確化。	喧嘩が絶えない夫婦。他者には平常な対応。妻には認知症の疑いあり、介護保険制度の利用も勧めてきたが、受け入れてもらえず、地域で見守りを続けてきた。急な夫の入院により、妻が混乱。地域で見守りきれず、地域包括支援センターへ介入依頼。民生委員や地域住民とともに見守りを行った。	○	○地域の住民組織と専門職と共に地域の活動支援を行い、連携の強化を図る。	
エ	経済的な理由により介護保険制度の利用を望まない場合の介入方法			○オレンジ協力員の活用。 ○認知症カフェや体操教室等の無料で集える会の開催。 ○アウトリーチの検討。	

7. 東部地区推進会議（平成29年3月24日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
3月24日 (金) 13:30~ 14:30	町会		医師		ケアマネ		1.地域包括支援センターの相談件数・内容についての報告 2.市地域ケア会議および個別ケア会議の報告 3.認知症関連に関する活動報告 4.地域住民との連携について
	地区社協		歯科医師		介護事業者		
	市社協		薬剤師				
	民生委員		看護師				
	ボランティア		保健師				
	高支連	7	医療相談員		地域包括	3	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
		消防					
				合計	11人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域住民と支援で関わっている 専門職との情報共有が必要である	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者世帯で精神疾患のある妻が要介護状態の夫の世話をしている。地域との交流はなかったが、近隣住民たちは夫婦の生活を心配しており、最近になってケアマネと情報交換ができた。 ○日中独居の認知症高齢者が、近隣に「他人が来ている」と助けを求める。近隣住民は手助けしたいと思っはいるが、どう対応してよいか困っている。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者支援連絡会の相談員と地域包括支援センターが情報共有し、連携できるよう、具体的な方法を協議する。 ○地域住民に認知症の説明をしていくと共に、地域で認知症サポーター養成講座を開催できるように地域包括支援センターが地域の関係者に働きかけていく。 	

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
イ	<p>支援を必要としている人について、問題が深刻になるまで顕在化せず地域で埋もれている可能性がある。地域との関わりがない世帯について、実情を把握するのが難しい。</p>	<p>認知症および精神疾患の独居高齢者。熱中症で救急搬送されたのがきっかけとなり、居室がごみ屋敷になっていることや家賃やライフラインが未払いとなっていることが判明。介護保険や成年後見制度の利用に繋がった。</p>	○	<p>高齢者支援連絡会の相談員と地域包括支援センターが情報共有し、連携できるよう、具体的な方法を協議する。</p>	

8. 常盤平地区推進会議（平成29年2月16日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者						議題
2月16日 (木) 13:30~ 15:30	町会	10	医師	3	ケアマネ	18	1.高齢者終末期医療 2.地域ケアシステムの実践、今年自分がやってみよう と思うこと
	地区社協	3	歯科医師	1	介護事業者	3	
	市社協	1	薬剤師	2			
	民生委員	12	看護師				
	ボランティア		保健師	3			
	高支連	4	医療相談員	3	地域包括	10	
	一般市民	1	社会福祉士	1	市役所	2	
			警察				
			消防				
				合計	77人		

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	意思決定困難な人にかかわる支援者の責任を軽くする必要がある	家族が亡くなりキーパーソン不在になったゴミ屋敷のサービス拒否の高齢者	×	○意思決定の困難な人に携わっている関係者間で討論記録を残すことを徹底する。 ○関係者記録の整備・周知徹底。	
イ	本人の意思が明確でない高齢者に関して介護と入所施設や病院と連携が必要	進行性難病。入院や施設入所が予想されるが、精神的に不安定で入院したら、眠らせてほしい。命を絶ちたいなどの発言がある。	×	○本人の意思を確認し、記録に残しておく。 ○今後の支援に向け話し合いをする。 ○関係者記録の整備・周知徹底	

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	認知症の家族を支える地域資源が必要	認知症の妻を支える夫がストレスを抱えている	○	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症家族の会を夫に提案 ○オレンジ協力員を活用 ○認知症カフェ紹介、夫婦が互いに離れた時間を設ける。 ○登録相談員さんが訪問。 ○相談者間で良い関係が構築できれば、地域との交流の一步につながる。 	地域のボランティアを集約するところを作る。
エ	生活状況が劣悪でも、本人家族の自覚がなく福祉サービス拒否の高齢者にも支援が必要	栄養状態が悪く生活が成り立っていないが、本人家族の自覚がなく福祉サービス拒否の高齢者	○	<ul style="list-style-type: none"> ○地域のボランティアが近所の高齢者の状況を把握。常日頃から挨拶等の声掛けを行い、認知症などの異常が見受けられたら地域包括支援センターに相談するといった協力体制を整える。 ○高齢者同士で互いの体調に注意を払うようにする。 ○民生委員など地域の人と連携して、各ご家庭とのコミュニケーションを取っていく。 	報酬が発生しない状況でケアマネが支援していることが多いので、行政がこのような状況に関わるべきではないか。

9. 五香松飛台地区推進会議（平成28年12月22日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
12月22日 (木) 10:00 ~12:00	町会	2	医師	1	ケアマネ	1	1.事例検討会の総括 2.平成28年度の地区全体での取り組み内容総括 3.来年度の地域ケア会議のあり方について
	地区社協		歯科医師	1	介護事業者	1	
	市社協	1	薬剤師		病院 事務長	1	
	民生委員	1	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	1	医療相談員		地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
			消防				
					合計	16人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地区内無料巡回バスについて	医療に繋がらず介護保険の申請もできない方で受診手段も無い。		来年度継続協議。	
イ	高齢者が集うサロン等の場所を増やす。	引きこもりで社会交流の無い高齢者世帯。趣味や体操教室等が近くにあると誘いやすい。		来年度継続協議。	
ウ	地域コミュニティーの確立	高齢世帯で消費者被害に逢っている可能性がある為、地域での見守りが必要。	○	向こう3軒両隣の関係構築の啓蒙活動中	

10. 五香松飛台地区推進会議（平成29年5月18日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
5月18日 (木) 14:00~ 16:00	町会	2	医師	3	ケアマネ	1	1.今年度の取り組み 2.H28年度地域包括支援センターの実績 3.その他
	地区社協	1	歯科医師		介護事業者	2	
	市社協		薬剤師		病院 事務長	1	
	民生委員		看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	1	医療相談員		地域包括	5	
	オレンジ 協力員	1	社会福祉士		市役所	1	
			警察		病院リハビ リ科	1	
			消防				
					合計	20人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	五香松飛台地区は戸建で介護認定を受けていない高齢者が多い		○	地区内のサロン等の社会資源をまとめ冊子にする。	
イ	15圏域の中でも医療機関が少ない		○	五香病院の巡回バスの本数を増やし新たな停留所を個別ケア会議で検討。常盤平中央病院の無料巡回バスの周知を行う。	
ウ	認知症の方の運転免許返納について		○	今年度の個別ケア会議で事例検討を行う。	

10. 五香松飛台地区推進会議（平成29年5月18日開催）

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
工	孤独死を防ぐ		○	今年度の個別ケア会議で事例検討を行う。	
才	認知症の方の対応方法について		○	今年度の個別ケア会議で事例検討を行う。	

1 1. 六実六高台地区推進会議（平成28年12月14日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
12月14日 (水) 13:30~ 15:30	町会		医師	1	ケアマネ	3	1.参加委員の紹介 2.平成28年度(上半期) 地域包括支援センターの活動報告 3.平成28年度個別地域ケア会議の報告 4.松戸市地域ケア会議の報告 5.課題・個別ケア会議で挙げられた課題について 検討課題：「地域の見守り」とは、それぞれの立場から考える
	地区社協	1	歯科医師	1	介護事業者	4	
	市社協		薬剤師				
	民生委員	1	看護師	1			
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	2	医療相談員		地域包括	3	
	老人会	1	社会福祉士		市役所	1	
			警察				
			消防				
				合計	20人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	独居の高齢者で体調が不安定である又難聴のため電話での安否確認ができない、近隣住民は本人の状況把握が出来ていない為見守りの必要性を認識していない。	独居の高齢者、介護保険サービスを利用してデイサービスや訪問介護のサービスを利用している。月に数日は買い物支援で家族が訪問している。体調も不安定のため急変も想定される。家族が安否確認で電話をするが難聴でほとんど電話が繋がらない。近隣との交流もなく又他者に対して関わり拒否がある。	○	地域住民間の関係づくりのためにまずは「挨拶」を交わす。住民間で関心も持つことで異常を早期に発見する。	独居高齢者や地域の見守り支援が必要な方の情報が地域のボランティア団体等に情報開示されていない為支援困難になっている、情報開示が出来るようなシステムづくりを期待する。

12. 六実六高台地区推進会議（平成29年5月10日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
5月10日 (水) 13:30~ 15:30	町会	1	医師	1	ケアマネ	8	1.地域にすでにある社会資源を確認する。 2.地域で不足している又必要と思われる社会資源について検討する。
	地区社協		歯科医師	1	介護事業者		
	市社協		薬剤師				
	民生委員	1	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	1	医療相談員		地域包括	3	
	老人会	1	社会福祉士		市役所	1	
			警察				
			消防				
				合計	19人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域により高齢者が歩行して いける距離にスーパー等がな く買い物に困っている。		○	○近隣住民の助け合い(買い物 支援) ○地域のスーパー等による定期 移動販売	
イ	住民が気軽に集う場所がない		○	○空き家の活用で地域住民でカ フェや集いの場を開設	
ウ	外出を楽しみたいがバス等が ないため自宅にすることが多 くなっている。		×		○コミュニティーバスにより細 やかな路線

13. 小金地区推進会議（平成29年5月26日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者						議題
5月26日 (金) 10:00~ 11:30	町会	1	医師		ケアマネ		1.小金地区の人口動態、高齢化率、介護の状況等について 2.小金地区の高齢者支援の状況の共有と課題について
	地区社協	1	歯科医師		介護事業者		
	市社協		薬剤師				
	民生委員	1	看護師				
	ボランティア		保健師				
	高支連	1	医療相談員		地域包括	1	
			社会福祉士		市役所	2	
			警察		子ども家庭相談課 1		
		消防	2				
				合計	10人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地区社会福祉協議会と地域包括支援センターの活動内容が共有されていない。		○	地域懇談会と地域包括ケア推進会議の連携機能を整えてはどうか。	市役所から地区社協に包括で扱う事業について情報提供を行なう。
イ	少子高齢化が進む中、高齢者と子どもの問題は一緒に考えるべきではないか。		○	高齢者と子どもの交流の場を作る。	小金地域包括ケア推進会議に、子どもの関係機関の参加調整を行う。
ウ	地域の見守りで把握したケースの緊急対応について、消防署・医療機関との連携による速やかな対応が必要。		×	消防署から示していただいた「救急隊が傷病者搬送時に必要な情報」の周知。	松戸市立病院を中心に医療機関との連携体制を構築する。
エ	自宅に引きこもっているハイリスクな高齢者へのアプローチが難しい。		×	小金地域包括ケア推進会議において引き続き検討。	

14. 小金原地区推進会議（平成29年1月24日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者						議題
1月24日 (火) 13:30~ 15:00	町会	1	医師	1	ケアマネ	5	1.「自分たちにできる地域活動」についての報告 2.地域個別ケア会議の個別事例についての報告 3.地域包括支援センターが相談を受けた類似事例についての報告 4.グループワーク『近隣の異変に早期に気づき対応するためにはどんなシステムがよいか』
	地区社協	1	歯科医師	1	介護事業者	3	
	市社協		薬剤師	1			
	民生委員	4	看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	2	医療相談員	1	地域包括	6	
			社会福祉士		市役所	2	
			警察		認知症コーディネーター	1	
			消防		認知症疾患センター	1	
					合計	31人	

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域で近隣の異変に早期に気づき、対応するためにどのようなシステムがよいか。	独居、幻視の症状があり、認知の低下がある。近隣から民生委員を通して地域包括支援センターに連絡があった。金銭管理ができずライフラインが止まるなど生活に支障が出ていた。	○	<ul style="list-style-type: none"> ○日頃のコミュニケーションなど近所付き合いを推進することで地域に気づく力をつける。 ○緊急連絡先について町会を中心に民生委員の情報などと合わせて情報を把握し、共有できるようにする。 ○気づいたらどこに連絡するか誰でもわかりやすいフローチャートのようなものを作り、地域で周知する。 	新聞や郵便が溜まっている場合、新聞業者や郵便局などから直接市に連絡が入るような協定を結んでほしい。
イ		独居、薬の管理ができなかったり、詐欺被害に合ったりしているが認知症の自覚がないためサービスを受け入れない。プライドが高く、困った時でも自分からSOSを出さない。	○		
ウ		独居、2日間弁当が玄関先におきっぱなしになっていることに宅配事業者が気づき、救急要請につながった。	○		
エ		独居、新聞が溜まっていることから隣人が異変に気づき救急要請につながった。	○		
エ					

15. 新松戸地区推進会議（平成28年12月9日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者						議題
12月9日 （金） 10：30 ～12：00	町会		医師		ケアマネ	2	1.新松戸地域包括支援センター活動報告 2.個別ケア会議の振り返り 3.地域課題について 4.その他
	地区社協		歯科医師	1	介護事業者		
	市社協	1	薬剤師	1			
	民生委員	1	看護師	1			
	ボランティア		保健師	1			
	高支連	1	医療相談員	2	地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
		消防					
				合計	16人		

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	身近で精神疾患、アルコールの相談が出来る窓口が少ない。関係者との交流や勉強会は開催されてはいるが、専門家を入れて情報共有したい。	精神科での服薬調整が必要だが、自己判断で服薬しない独居高齢者のケース。 アルコールがやめられない、服薬管理が出来ない、一人で受診出来ない等の問題があるが、自宅で暮らし続けたいと希望している独居高齢者のケース。	○	地域ケア会議に地域活動支援センターの方に来てもらう。	
イ	認知症の方が増加している中、対応してくれる病院や資源の情報が少ない。認知症の中でも認定されていない人への支援が問題になってくる。		○	地域包括が調整役となってつないでいく。	

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	高齢者の居場所がない。 移動手段がない。 地域資源情報の周知不足、 点と点が線になっていない。		○	近いところに交流の場が作 れると良い。 様々な地域資源情報の一覧 があると良い。	ミニバスがほしい。
エ	認知症サポーター養成講座 を受けた後のオレンジ協カ 員や、その他ボランティア の活動が活発でない。		×	オレンジ協カ員のスキル アップ、ボランティアの育 成。	
オ	アパート等での近所ゴミ トラブルが増えている。		○	地域でのコミュニティ形成。	
カ	市役所の取った災害名簿が 結局活用されていない。		×		公表の同意が取れているも のなど、地域で活用できる ものがほしい。

16. 新松戸地区推進会議（平成29年5月12日開催）

（1）参加者・議題

日時	参加者						議題
5月12日 （金） 10：30 ～12：00	町会	1	医師	1	ケアマネ	3	1.地域包括支援センター活動報告 2.個別ケア会議の振り返り 3.地域課題の振り返り 4.その他
	地区社協	1	歯科医師		介護事業者		
	市社協	1	薬剤師	1			
	民生委員	3	看護師				
	ボランティア		保健師				
	高支連	1	医療相談員	1	地域包括	4	
			社会福祉士		市役所	1	
			警察				
		消防					
				合計	18人		

（2）議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	地域で介護予防や見守り活動などをもっと活性化していかないとけない。		○	社協や民生委員や高支連や地域包括支援センターで各町会を回って必要性などを伝えていく。	
イ	地域と専門職のつながりを持つ。連携と対応の質をどのように上げていくのか。				

	①課題	②関係する個別事例 (①に關係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ウ	潜在的なケースを発見するにはどうしたらいいか。		×		

17. 馬橋地区推進会議（平成29年3月2日開催）

(1) 参加者・議題

日時	参加者					議題	
3月2日 (木) 9:30～ 11:00	町会		医師	1	ケアマネ	1.小規模多機能型居宅介護 グループホーム状況報告 2.オレンジ協力員の集いの場の提供について 3.次年度からの地域個別ケア会議のあり方 4.地域支援ネットワークの構築について	
	地区社協		歯科医師		介護事業者		10
	市社協		薬剤師	1			
	民生委員		看護師				
	ボランティア		保健師	1			
	高支連		医療相談員		地域包括		4
			社会福祉士		市役所		1
			警察		NPO法人		1
			消防				
				合計	19人		

(2) 議論のまとめ

	①課題	②関係する個別事例 (①に関係する個別事例がある場合に記入)	③地域での 解決の是非 (○・×)	④地域での対応方針 (③が○の場合に記入)	⑤市レベルで期待すること (任意記入)
ア	ボランティア活動をする際、指導者がいない。		×		さらにボランティア指導者育成に力を入れてほしい。
イ	ボランティアグループを発足させる話し合いの際、諸経費がかかる。		×		ボランティア活動推進のためさらに給付金を充実させてほしい。